



様式第15号 (第7条関係)

副議長	議長
	

平成31年 4月26日

政務活動費収支報告書 (議員用)

(あて先)

高崎市議会議長

議員氏名 松本 基志 

高崎市議会政務活動費の交付に関する条例第13条第1項の規定により、平成30年度の政務活動費収支報告書を次のとおり提出します。

1 収入 政務活動費 1,000,000 円

2 支出 (単位:円)

科目	金額	備考
研修費	79,380	
調査研究費	174,779	
資料購入費	115,230	
広報・広聴費		
要請・陳情活動費		
人件費		
事務所費		
事務費	13,230	
会派共用費		
合計	382,619	

3 残額 617,381 円

平成30年度
政務活動費会計帳簿

会派用・議員用・会派共用費用

会派名

氏名 松本 基志

様式6

政務活動費会計帳簿

(収入)

月 日	金 額
4月11日	500,000 円
10月10日	500,000 円
	円
合 計	1,000,000 円

(支出)

項 目	金 額
研修費	79,380 円
調査研究費	174,779 円
資料購入費	115,230 円
広報・広聴費	0 円
要請・陳情活動費	0 円
人件費	0 円
事務所費	0 円
事務費	13,230 円
会派共用費	0 円
合 計	382,619 円

(残 額)

617,381 円

調査研究費

会派又は議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費
(資料作成費、調査委託費、文書通信費、交通費、宿泊費等)

月 日	支 払 内 訳	支 払 先	金 額
6月21日	「岩手県紫波町・青森県八戸市視察」 視察ガイド料	公益社団法人八戸観光コン ベンション協会	1,200 円
	「岩手県紫波町・青森県八戸市視察」 視察研修費・タクシー代・お土産代	(24,019円÷3人)	8,006 円
7月10日	「 〃 」視察研修費	オガール紫波(株)	<16,200> 円
7月11日	「 〃 」タクシー代	菊池タクシー	<2,100> 円
7月12日	「 〃 」タクシー代	三八五交通	<1,830> 円
7月3日	「 〃 」お土産代	(株)原田・ガトーフェスタハラダ	<3,889> 円
7月27日	「岩手県紫波町・青森県八戸市視察」 交通費・宿泊費	(株)トニーズワールド	55,850 円
	「 〃 」交通費	東日本旅客鉄道(株)	<37,650> 円
	「 〃 」宿泊費	ホテルメトロポリタン盛岡	<9,300> 円
	「 〃 」宿泊費	ダイワロネットホテル八戸	<8,900> 円
8月30日	「震災対策技術展」交通費	東日本旅客鉄道(株)	25,740 円
〃	「 〃 」宿泊費	ホテルJALシティ仙台	10,500 円
10月10日	「全国都市問題会議」参加費	第80回全国都市問題会議 実行委員会	10,000 円
10月4日	「 〃 」交通費	東日本旅客鉄道(株)	16,940 円
10月10日	「 〃 」宿泊費	JR東日本ホテルメッツ新潟	7,900 円
	「 〃 」タクシー代・資料代・お土産代	(20,598円÷3人)	6,866 円
10月10日	「 〃 」タクシー代	東タクシー	<4,830> 円
10月10日	「 〃 」タクシー代	白根中央タクシー(株)	<4,770> 円
小計			143,002 円

資料購入費

会派又は議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
 (書籍、雑誌、新聞、住宅地図、ビデオテープ、CD-ROM、法規類の追録等の購入代、有料データベース利用料等)

月 日	支 払 内 訳	支 払 先	金 額
8月3日	書籍購入費「高崎市の昭和」	(株)文開堂	9,990 円
8月26日	書籍購入費「ぐんまの自然と災害」	戸田書店	1,512 円
2月1日	書籍購入費「住宅地図」	(株)刊広社	25,320 円
3月20日	書籍購入費「議員NABI Plus」	第一法規(株)	19,440 円
〃	書籍購入費「D-file」	イマジン出版(株)	58,968 円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
計			115,230 円

事務費

会派又は議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費
 (消耗品費、文書通信費、資料作成費、備品購入費、事務機器リース代、備品修繕費・保守点検代、ガソリン代等)

月 日	支 払 内 訳	支 払 先	金 額
9月12日	ICレコーダー・電池	(株)ヤマダ電機	13,230 円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
	計		13,230 円

研修・視察報告書

平成 30年 6月 8日

高崎市議会議長 様

議員氏名 松本 基志

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

期 間	平成 30年 5月 30日(水)～ 平成 30年 5月 31日(木)				
研修・視察先 及び所在地	東京ビッグサイト東ホール(東京都江東区有明3-11-1) 早稲田大学早稲田キャンパス26号館大隈記念タワー11階1102号室				
議 員	松本 基志				
目 的	「2018防災産業展 in 東京」を視察して、本市の防災対策の参考とする。 早稲田大学・地方議員研究会共催セミナー「地方創生・民泊に様々な実例、 大学の上手な使い方」に参加して、本市の施策の参考とする。				
概 要	<p>○行程</p> <p>5月30日 高崎駅=(新幹線)=東京駅=(JR)=新橋駅=(ゆりかもめ)=国際展示場 正門駅=(徒歩)=会場=(徒歩)=国際展示場正門駅=(ゆりかもめ)=新 橋駅=(地下鉄)=泉岳寺駅=(徒歩)=ホテル</p> <p>5月31日 ホテル=(徒歩)=泉岳寺駅=(地下鉄)=日本橋=(地下鉄)=早稲田駅= (徒歩)=早稲田大学(会場)=(徒歩)=早稲田駅=(地下鉄)=飯田橋駅= (JR)=東京駅=(新幹線)=高崎駅</p> <p>○費用内訳</p> <p>交通費 JR・新幹線 8,360円 宿泊費 アパホテル品川泉岳寺駅前 10,500円 受講料 一般社団法人地方議員研究会 15,000円</p>				
費 用	宿泊費	交通費	昼食代	その他	合 計
	10,500円	8,360円	円	15,000円	33,860円

所 見	<p>○内容・所見</p> <p>1. 「2018防災産業展 in 東京」安全・安心な住生活・社会インフラ環境を創る</p> <p>① 展覧会に参加している各種団体・企業のブースを視察。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前野商事(株)の非常時給水タンクシステム「みずかめ君」。通常時は、水道管に直接つなげるステンレス製のタンク。断水時にタンク内に水道水が確保され、水圧の代わりに空気圧をかけることにより平常時と同じように各蛇口から水道水を利用できる。一戸建て、マンションなどの集合住宅、介護施設、病院、保育園、幼稚園、学校などに設置。 ・文化シャッター(株)。増加する集中豪雨による都市型水害に備える止水製品。いわゆる内水氾濫に対する。浮力起伏式止水板は、水の浮力を利用し、自動起立する仕組みのため、電源が不要。災害時に多い停電の際にも自動起立する。建物のエントランス、駐車場の出入り口などに設置が可能。 ・(株)カワハラ技研の備蓄型組み組立仮設トイレ「ほぼ紙トイレ」。災害時の大きな課題のトイレ。この製品は、ほぼ紙のため、軽く、コンパクトで備蓄時に省スペース設計で、組立も簡単。材料は耐水性、屋外に設置できるのでおいの問題を解消、男女別・プライベートが確保できる個室トイレ。400ℓで、1, 600回使用できる。 ・三嶋電子(株)柏葉水電池。水に浸すと数秒(5～10 秒)で発電する電池。特徴は、水を入れるだけで発電、電源のない場所でも利用でき、約10年保存できる。「河川増水警告灯」水位が上昇すると、水電池が発電をして、段階的に警告灯が点滅する。国交省東北地方整備局山形河川国道事務所で、採用されている。 <p>② セミナー受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長 林春男氏による基調講演「研究成果の社会実装を目指した防災科研の試み」を受講。 <p>防災科学技術研究所は、防災科学技術を向上させることにより、災害に強い社会の実現を目指し、世界最大規模の実験施設や全国に広がる地震・津波・火山・気象等の観測網を活用して研究開発に取り組んでいる。</p> <p>津波遡上即時予測システム、最新気象レーダーを活用した大雨・強風予測情報の提供、防災情報共有システムなどにお話を伺った。</p> <p>講演会、展覧会を通して、最先端の災害対策について、確認することができ、今後の本市の災害対策施策の参考となった。</p>
--------	---

2. 早稲田大学・地方議員研究会共催セミナー「地方創生・民泊に様々な実例、大学の上手な使い方」

- ・「地方創生について」
- ・「地域が豊かになる民泊の実例」
- ・「地域と大学の新しい関係 地域活性の起爆剤としての大学の活用方法」
講師 早稲田大学環境総合研究センター上級研究員 岡田 久典氏
講師 早稲田大学環境総合研究センター 研究院准教授 永井 裕二氏

・地方創生が目指す方向。

- ・自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す。
- ・外部との積極的なつながりにより、新たな視点から活性化を図る。

・地方創生事例

- ・観光～インバウンド、DMO、海外交流、ローカルブランディング
- ・しごとづくり～地域産業、農林水産業、企業立地促進、雇用促進
- ・まちづくり～市街地活性化、都市再生、環境モデル都市
- ・地域コミュニティ～集落再生、移住、定住促進、CCRC、小さな拠点
- ・地域医療～福祉、介護
- ・ひとづくり～教育、子育て、少子化対策、自立支援
- ・その他～地域交通、情報通信

・大学の新しい役割は、「社会の発展に寄与する。」つまり、地方創生にも貢献する。

・「域額連携」地域活力創出モデル実証事業～地域と大学等の連携による地域力の創造に資する人材の育成と自立的な地域づくりを推進する仕組みを構築し、地域活性化を通じた日本経済の底上げを図る。

・実例～千葉県いすみ市。都市の大学生さーくる「いすみっこ」。若い人、第二の住民により、地域資源を活用する。

・定住人口1人当たりの年間消費額(124万円)は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者10人分、国内旅行者(宿泊)26人分、国内旅行者(日帰り)83人分にあたる。

・民泊の成功事例～小豆島豊島。戦後最大級といわれた産業廃棄物不法投棄事件による風評被害。アートの島としてスタート。しかし、新たな課題として、宿泊難民、食事難民。民泊で対応。地域ネットワークを構築。更に、ネットの活用、SNSによる口コミの展開。

講師による、実例をあげての地方創生などの対する地域の取り組みを伺い、今後の本市の施策の参考になった。

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. /
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領収書
Receipt
領収年月日 2018.5.30
金額 ¥8,360
(クレジット扱い)
購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(10057 4枚)
東日本旅客鉄道株式会社
高崎駅
高崎駅 VF15発行 20058-01

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

APA HOTELS & RESORTS

領収書

松本基志様

金額

¥10,500

(内消費税等)
クレジットカードにて領収いたしました。

アパホテル<品川 泉岳寺駅前>
TEL 03-5475-6801

印紙税申告納
付につき麻布
税務署承認済

アパホテル株式会社
作成地
東京都港区赤坂3丁目2-3

領収証

松本基志様

30年5月31日

★ ¥15,000

但 5/31 AM 研修会 受帯代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297

取引番号: 106004C053030144 2018/05/30 18:47

お部屋番号: 1205

お名前 : マツモトモトシ様
ご人数 : 1
宿泊期間 : 2018/05/30 - 2018/05/31

クレジットカードご利用明細

ご利用日 : 2018/05/30
カード番号 :
お支払方法 :
承認番号 :
伝票番号 : 106004-20180530184749-00040
ご利用金額 : ¥10,500

研修・視察報告書

平成 30年 7月 27日

高崎市議会議長 様

議員氏名 松本 基志

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

期 間	平成 30年 7月 25日(水)				
研修・視察先 及び所在地	TKP 東京駅大手町カンファレンスセンター カンファレンスルーム22A 東京都千代田区大手町1-8-1KDDI 大手町ビル22F				
議 員	松本 基志				
目 的	日経グローバルセミナー「人口減少時代の財政健全化のヒント」に参加し、本市の施策の参考とする。				
概 要	○行程 高崎駅=(新幹線)=東京駅=(徒歩)=会場 上記を往復 ○費用内訳 交通費 JR・新幹線 8,360円 参加費 5,000円				
費 用	宿泊費	交通費	昼食代	その他	合 計
	円	8,360円	円	5,000円	13,360円

所 見	<p>○内容・所見 「人口減少時代の財政健全化のヒント」</p> <p>1. 公共施設の最適配置(PRE)の本質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少による予算制約の強化と高齢化による施設ニーズが変化する。 ・維持補修経費の増大、維持補修に係る財源の確保。 ・つくるか(更新・転用)、やめるか(売却)、放っておくか(修繕対応)の方針を定義し、それぞれ優先順位をつける。 <p>*百貨店等の改装(コンバージョン)により自治体庁舎を整備した事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元百貨店:石巻市、栃木市 元ショッピングセンター:むつ市・甲府市・土浦市 <p>2. PPP、PFI による施設整備</p> <p>仕様発注ではなく、「仕様を発注」するのが PFI。公共施設を収益施設の集客装置として活用する。</p> <p>*公園トイレにコンビニを併設。横浜市の山下公園にあるレストハウスは、コンビニエンスストア、休憩所、トイレで構成、ローソンが管理運営を担っている。維持管理費を節約するだけでなく使用料を徴求している。</p> <p>3. 負担付き寄付と指定管理スキーム</p> <p>三鷹の森ジブリ美術館～株式会社が事業費を投じて美術館を建設、建物を三鷹市に寄付。代わりに三鷹市が6%出資する公益財団法人が管理運営。</p> <p>4. 都市公園法の管理許可スキーム</p> <p>楽天命パーク宮城～宮城県立宮城野公園は、楽天進出に合わせ大幅に改装。球場の改装費用を、楽天球団が負担し、改修に伴う設備造作は宮城県に寄付。</p> <p>三方一両得:県～財政負担なしの改修、民間～工業ビジネスと本業への波及効果、住民～ボールパークによる盛り上がり</p> <p>公共施設の老朽化への対応を求められる一方、人口減少による税収減が見込まれ財源は厳しいなか、少ない公的負担で既存施設を整備・更新するための施策として、PFI や負担付寄付などによる解決策の事例を伺い、今後の参考となった。</p>
-----	--

請求書番号 18-038

領 収 書

2018年7月24日

高崎市議会 御中

金額 ¥5,000

摘 要	金 額	備 考
開催日 2018年7月25日(水) 日経グローバルセミナー 7月定例会参加費(消費税込み) テーマ: 『人口減少時代の財政健全化のヒント』— 老朽施設の更新へPPP/PFIなど知恵絞る』	5,000	松本 基志 様
合 計	5,000	

上記 正に領収いたしました。

〒100-8066

東京都千代田区大手町一丁目3番7号
株式会社 日本経済新聞社



担当部局 デジタル事業担当付 事業運営グループ
Tel 03-6256-7138

研修・視察報告書

平成 30年 10月 30日

高崎市議会議長 様

議員氏名 松本 基志

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

期 間	平成 30年 10月 25日(木)				
研修・視察先 及び所在地	アットビジネスセンター池袋駅前別館「804号室」 東京都豊島区東池袋1-6-4伊藤ビル8階				
議 員	松本 基志				
目 的	地方議会議員セミナー「地域創生 成功は人にあり」に参加し、本市の施策の参考とする。				
概 要	○行程 高崎駅=(新幹線)=大宮駅=(JR)=池袋駅=(徒歩)=会場 上記を往復 ○費用内訳 交通費 JR・新幹線 7,160円 受講料 25,000円				
費 用	宿泊費	交通費	昼食代	その他	合 計
	円	7,160円	円	25,000円	32,160円

<p>所 見</p>	<p>○内容・所見</p> <p>「地域創生 成功は人にあり」</p> <p>講師:東京農大教授・内閣官房シテイマネージャー(特別参与)木村俊昭氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生の重要ポイント <ul style="list-style-type: none"> ① 実学・現場重視の視点 ② 全体最適思考 ③ 民間の参画(民にできる事は民で) ・地域創生の実践行動の三本柱 <ul style="list-style-type: none"> ①リーダー・プロデューサー人財塾の開塾 ②「5感6育」事業の実現*6育～知育・木育・食育・遊育・健育・職育 ③仕事の整理・仕事環境の改善 ・地方創生「人育て」「まち育て」の実践 <ul style="list-style-type: none"> ①地方創生と地域創生 ②地域創生の構成と政策主体 <ul style="list-style-type: none"> 事業主体と連携体制 5つの質問の有効性 ③従来の地域リーダーの資質 誰でもリーダーになれるのか ④人材養成の研修事例の現状と今後 ⑤いま、求められる地域リーダー像 <ul style="list-style-type: none"> 部分個別最適思考から全体最適思考へ ⑥地域人材から地域人財への進化 <ul style="list-style-type: none"> ひと、もの、こと ひととは財一人材 使命・目的・目標の明確化 ⑦地域創生 何から始めるといいのか <ul style="list-style-type: none"> 自己分析、自己史年表、五感分析(感動・四季)分析 基本的な能力 情報力、想像力、創造力、関係力、行動力 基礎的な能力 コミュニケーション力、観察力、洞察力、発見力、引き出し力、事業構想力、実現力 ⑧情報共有、役割分担、出番創出、事業構想＝順番重視 <ul style="list-style-type: none"> 産学官金公民の連携～コミュニティ拠点形成 協働によるストーリー・台本・脚本の作成 ⑨「5感6育」(知育・木育・食育・遊育・健育・職育)度合 <ul style="list-style-type: none"> スペード、バランス、パワー、タイミング ⑩「Why so? So what?」の繰り返しから得るもの <ul style="list-style-type: none"> ジョブ理論、人を動かす技術、マスメディア対応 ⑪期限は3年間(3+3+6+6)ヶ月×2回が原則 <ul style="list-style-type: none"> 問題提起3ヶ月、政策立案3ヶ月、検証6ヶ月、実践6ヶ月 人材養成～1年目、2年目、3年目の進化度
------------	---

⑫まちネットワーク図・産業相関図

徹底的な現場ヒアリング～聴く力

⑬「まち育て」は「人育て」にあり

ストーリー戦略のあり方

継続するシステム構築

ビジネスモデルキャンパス 目的・目標、使命、順番、期限、キャッチコピー

農商工連携・6次産業化のあり方

地域創生 基幹産業の変遷 医療介護福祉分野

・事例

①行方市

・サツマイモをつかった地域創生

農業生産者の顔が見える安全性

6次産業 なめがたファーマーズ・ビレッジ

廃校跡地を「やきいもミュージアム」に

収穫体験～廃校跡地を利用、体験型農業テーマパーク

②鹿屋市

「やねだん」

集落の幼児から高齢者までの出番を引き出し、地域活動に参加してもら
う。行政に頼らず活動。補助金や国や町に頼らずに、補助金に変わるも
の、それは汗、すなわち活動への参加。

地域創生のポイントについて、各地の事例を織り交ぜながら、お話をお伺いし
ました。今後の本市の取り組みに活かしていきたい。

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 3
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領収書 松本基志様

Receipt
領収年月日 2018. 7. 25
金額 ¥8,360
〔クレジット扱い〕

購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(60083 4枚)
東日本旅客鉄道株式会社
高崎駅
高崎駅 VF13 発行 00084-01

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領収書 松本基志様

Receipt
領収年月日 2018. 10. 25
金額 ¥7,160
〔クレジット扱い〕

購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(20107 4枚)
東日本旅客鉄道株式会社
高崎駅
高崎駅 VF16 発行 30108-01

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領収証

No.

松本 基志 様

平成30年10月25日

金額 **¥25,000**

内	
消費税等	
現金	

但 10月25日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



係

研修・視察報告書

平成 30年 7月 20日

高崎市議会議長 様

議員氏名 松本 基志

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

期 間	平成 30年 7月 10日(火) ~ 平成 30年 7月 12日(木)				
研修・視察先 及び所在地	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県紫波町 ・青森県八戸市 				
議 員	三島 久美子、北嶋 菊好、松本 基志				
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県紫波町オガールプロジェクトについて、八戸ポータルミュージアムの取り組みについて、八戸市観光誘客について視察し、それぞれ本市の施策の参考とする。 				
概 要	<p>○行程</p> <p>7月10日高崎駅=(新幹線)=大宮駅=(新幹線)=盛岡駅=(JR)=紫波中央駅=(徒歩)=オガールプラザ(視察)=(徒歩)=紫波中央駅=(JR)=盛岡駅=(徒歩)=ホテル</p> <p>7月11日ホテル=(徒歩)=盛岡駅=(新幹線)=八戸駅=(タクシー)=八戸ポータルミュージアム・中心市街地(視察)=ホテル</p> <p>7月12日ホテル=(タクシー)=八食センター(視察)=(バス)=八戸駅=(新幹線)=大宮駅=(新幹線)=高崎駅</p> <p>○費用内訳</p> <p>交通費 JR・新幹線 37,650円、タクシー代 1,310円</p> <p>視察研修費 5,400円、お土産代 1,296円、ガイド案内料 1,200円</p> <p>宿泊費 ホテルメトロポリタン盛岡 9,300円、 ダイワロイネット八戸 8,900円</p>				
費 用	宿泊費	交通費	昼食代	その他	合 計
	18,200 円	38,960 円	円	7,896 円	65,056円

所 見	<p>○内容・所見</p> <p>1. オガールプロジェクトについて</p> <p>紫波中央駅前都市整備事業(オガールプロジェクト) JR 紫波中央駅前の町有地10.7haを中心とした都市整備を図るため、町民や民間企業の意見を伺い、平成21年3月議会の議決を経て紫波町公民連携基本計画を策定。この基本計画に基づき平成21年から始まったプロジェクト。</p> <p>平成26年6月1日、オガール地区において都市デザインの優れた魅力的なまちづくりを推進するため、「オガール・デザイン会議設置」し、施設設計やデザインの調整を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年4月、岩手県フットボールセンターオープン。 ・平成24年6月、オガールプラザ(官民複合施設)オープン。PPP手法。 公共施設～図書館・地域交流センター・子育て支援センター 民間施設～産直・歯科クリニック・眼科クリニック・カフェ・居酒屋・学習塾・事務所 ・平成26年6月、エネルギーステーション事業開始。 ・平成26年7月、オガールスペース(民間複合施設)オープン。ビジネスホテル・日本初のバレーボール専用体育館・テナント ・平成27年5月、紫波町役場庁舎開設。PFI手法。 ・平成28年12月、オガールセンター(官民複合施設)オープン。紫波町こどもセンター・小児科・病児保育室・テナント ・平成29年4月、オガール保育園オープン。 <p>紫波駅前の10.7haの町有地を、公民連携によるまちづくりで、整備。PPP手法やPFI手法を取り入れ、テナントについては逆算方式による100%入居率の達成など、全国的にみても先進的な取り組みであった。今後の本市の施策の参考になった。</p> <p>2. 八戸ポータルミュージアム「はっち」のとりくみについて</p> <p>八戸市の中心市街地は、八戸城を中心に形成された城下町であり、歴史と文化の息づく街として、活況を呈する街並みが発達してきた。</p> <p>しかし、中心市街地の空洞化や商業機能の低下が進んだので、中心市街地を八戸の顔にふさわしい、人々が集い、賑わいの溢れる空間に再生するために、「八戸ポータルミュージアム はっち」を建設。2011年2月オープン。</p> <p>「はっち」の事業としては、会所場づくり、貸館事業、自主事業(中心市街地にぎわい創出・文化芸術活動の振興・ものづくりを通じた新しい価値観の創</p>
--------	---

造・八戸の魅力発信、観光を通じた地域活性化)を行う。
成果は、開館1年後、来館者 88 万人、2 年目 200 万人、3 年目 300 万人、5 年後 500 万人達成。平成 25 年度、文化庁長官表彰、平成 28 年度、地域創造大賞を受賞。

中心市街地の拠点施設として、まちづくり・文化芸術・観光・ものづくり・子育て支援を軸とした活動をサポートする多様な設備を備えていて、成果もあげている。今後の本市の施策の参考にしたい。

3. 八食センターについて

八戸市むつ湊地区の商業者有志を募り、新天地に新しいタイプの店舗集団「八食センター」として、昭和 55 年 11 月オープン。港町という立地を生かし、水産品を中心に、青果・精肉・お菓子・一般食品を広く品揃えする郊外型食品市場。

地元一般客、商圏外客(ビジネス・観光)、業務店(寿司屋・居酒屋・ホテル)が混在する。地元 30%、観光客 60%、料理人 10%。26 年度売上高は 58 億 85 百万円、客数は 287 万人。最近は、中国・台湾・韓国からの観光客も増えている。

本市で今後整備が予定されている「物産センター」の参考になった。

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. /
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領収書

No. 46

高崎市議会 松本様

平成30年6月21日

金額												¥							1	2	0	0	-
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---

現金	
小切手	
振込	✓

但、このLocal旅体験料として上記正に領収いたしました

印紙税法
第五条に
より非課税

〒031-0075
青森県八戸市内丸1丁目1-2
公益社団法人 八戸観光コンベンション協会
会長 塚原隆市
電話 0178-41-1661(代)

領収証													
松本基志 様 No.													
金額													
755850													

但 視察旅費、JRC代金宿泊代金として
30年7月27日 上記正に領収いたしました

内訳
税抜金額
消費税額(%)



〒370-3105 群馬県高崎市箕郷町西町5-5-1

株式会社トニクス
取締役支店長 奥
TEL 027-388-0315

請 求 書

松本 基志 様

平成30年7月3日

2018/7/10～ご出発
御旅行代金につきまして下記の通り御請求申し上げます。

株式会社トニーズワールド ぐんま支店
〒370-3105 群馬県高崎市箕郷
TEL027-388-0315 F
取締役支店長 奥原 保
株式会社全国旅行業協会保証社員 神奈川県

御請求金額 ¥55,850

項 目	単価	人員	金額	摘要
JR東日本運賃料金	37,650	1	37,650	高崎～盛岡～八戸往復/盛岡～紫波中央往復
宿泊代	9,300	1	9,300	盛岡
宿泊代	8,900	1	8,900	八戸
合 計	¥		55,850	
お預り金			0	

備考

お振り込みの場合は、お手数でも下記口座へお願い致します。

株式会社トニーズワールド ぐんま支店

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 2
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領収書	No. 1830111 平成30年7月10日
高崎市議会北嶋菊好・松本基志・三島久美子 様	
金額	¥ 16,200
但 オガールプロジェクト視察研修費として	
上記金額正に領収いたしました。	
内訳	収 入
税金金額 ¥ 15,000	〒028-3318
消費税額 ¥ 1,200	岩手県紫波郡紫波町紫波字北町2丁目3-3
	オガール紫波株式会社
	代表取締役 佐々木

領収書

2018年07月11日 -274

メーター運賃 ¥2,100円
運賃料金計 ¥2,100円
合計 ¥2,100円
現金支払 ¥2,100円
組合番号 2000

毎度 乗車ありがとうございます。
個人菊池タクシー
八戸市新井田字西132-6
自動車 TEL
090-3128-1491

領収書

現・チ・ク・割引 No.7734
日付 '18年07月12日
車番 000567 000
基本運賃 ¥1830円
合計 ¥1830円

上記の通り領収致しました。
毎度ご乗車ありがとうございます。
**タクシーの御用命は
三八五交通**
TEL 0178-43-0385

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 3
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領収書

NO. 266624



高崎市議会
北嶋南好、松本基志、三島美子様

2018年7月3日

金額	百万	十万	万	千	百	十	円
			7	3	8	8	9 -

上記正に領収いたしました 但 御品代として

内 訳

クレジットカードによるご利用分

税抜金額			
消費税額			

パティスリークリエーション
株式会社 原田・ガトーフェスタハコ

新本館 シャトー・デュ・ボヌール 店 中山道店
 〒370-1301 群馬県高崎市新町1207 〒370-1301 群馬県高崎市
 TEL 0274-43-1100 FAX 0274-42-0137 TEL 0274-42-0001 FAX
 通信販売センター TEL 0120-520082 □ ららん藤岡店
 FAX 0800-800-6082 〒375-0005 群馬県藤岡市
 TEL 0274-40-7611

PÂTISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA

研修・視察報告書

平成 30年 9月 5日

高崎市議会議長 様

議員氏名 松本 基志

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

期 間	平成 30年 8月 30(木) ~ 平成 30年 8月 31日(金)				
研修・視察先 及び所在地	・仙台市青葉区中央1-3-1 AERビル				
議 員	松本 基志				
目 的	「震災対策技術展」東北一自然災害対策技術展一に参加し、本市の防災施策の参考とする。				
概 要	○行程 8月30日 高崎駅=(新幹線)=大宮駅=(新幹線)=仙台駅=(徒歩)=会場=(徒歩) =ホテル 8月31日 ホテル=(徒歩)=会場=(徒歩)=仙台駅=(新幹線)=大宮駅=(新幹線) =高崎駅 ○費用内訳 交通費 JR・新幹線 25,740円 宿泊費 ホテル JAL シティ仙台 10,500円				
費 用	宿泊費 10,500 円	交通費 25,740 円	昼食代 円	その他 円	合 計 36,240 円

所 見	<p>○内容・所見</p> <p>「震災対策技術展」東北 ―自然災害対策技術展―</p> <p>○セミナー</p> <p>1. 「自主防災活動の活性化と持続可能な防災まちづくり」</p> <p>コーディネーター: 東北大学 災害科学国際研究所 防災教育国際協働センター センター長・教授 佐藤 健氏</p> <p>パネリスト:</p> <p>東北大学大学院経済研究科 教授 増田 聡氏 グリーンキャピタル長町Ⅱ管理組合 理事長 武山 浩氏 片平地区まちづくり会 溝井 貴久氏 利府町青山町内会 会長 吉田 千枝子氏 宮城県危機管理対策課 地域防災班主任主査 東海林剛氏</p> <p>・武山氏 マンション防災力向上の取り組み～防災住民アンケートの実施、コミュニケーションづくり(芋煮会・子供会等)、防災マニュアル作成、自主防災組織住民説明会、防災訓練の実施、防災備品の備蓄。今後の課題～防災を通してのコミュニティ交流促進、避難マップの作成、地域との連携、防災訓練。</p> <p>・溝井氏 SBL(仙台市防災リーダー)～町内会長を補佐し、地域防災リーダーで協力して、地域に根差した自主防災活動を推進する。 片平地区のSBLの活動①防災情報の周知～防災行動MAP作成・漫画やHPでの情報発信・高齢者向けスマホ教室開催②次世代の人材育成～防災宝さがしゲームの企画運営・片平こどもまちづくり隊のサポート・石橋中片平小との連携授業</p> <p>・吉田氏 青山町内会の取り組み～①防災訓練の充実・強化、参加者280名。避難誘導訓練、検索、救護、消火活動など。②防災意識向上のための研修会開催。③防災備品の新規購入。各家庭での防災備品の点検(チェックリスト作成)。</p> <p>・増田氏 マンション、市街地、郊外の団地での対策。災害を想定した訓練の実施。発災時に自主防災組織は機能できるか。情報交換をし、良い所は取り入れていく。地域の特性に合った対策が重要。マンパワーが必要。</p> <p>・東海林氏 自主防災組織に対する宮城県の取組・支援 自主防災組織支援・活性化支援モデル事業～災害に強いまちづくりの実現を目指し、地域の防災体制の更なる強化を図るため、市町村が行う自主</p>
-----	---

防災組織の育成及び活性化に向けた取り組みを支援する。自主防災組織に対してアドバイザーを派遣し、2年かけて防災活動などの活性化の支援を行う。具体的には、アドバイザーを講師とした勉強会の開催や、自分たちの地域の問題点を議論し解決のための行動実践をアドバイス。(備蓄品目の議論・購入、要支援者名簿の作成など)

2. 「東日本大震災を踏まえて 仙台市の避難所運営」

講師 仙台市危機管理室 減災推進課 主幹 北川 進氏

- ・東日本大震災から得られた教訓～顔の見える関係が構築されている地域は避難所運営がうまくいった。これにより、地域防災計画の修正、避難所運営マニュアルの作成を行った。
- ・仙台市の避難所に関する考え方～避難を必要とする方を受け入れる施設、避難者を一時的に受け入れる施設、避難者の必要最低限の生活を支援する施設。
- ・避難所の種別～指定避難所(仙台市立小中高等学校)、補助避難所(市民センター・コミュニティセンター)、地区避難所(地域の集会所など)
- ・事前準備～避難所運営に関する事前協議を行い、マニュアルに落とし込む。

・活動

① 地域団体

地域の被害、住民の安否を確認。要支援者の避難支援。安全を確保できる範囲内で、消火活動・救援活動を行う。避難所では町内会など地域ごとの人数の確認。避難所開設準備。運営の中心となって各種活動を行う。

② 避難所担当職員

地震は震度6、大雨時は土砂災害警戒情報発令で自動参集。避難所では、避難の状況・施設の状況を確認し、本部へ連絡。地域団体・避難者等と連携しながら、避難所運営全般に携わる。

③ 避難者

地域団体と連携して避難所運営の各種活動を積極的に行う。

3. 「大雨による水害から命を守るために」

仙台管区气象台 気象防災部予報課 水害対策気象官 戸堀 博之氏

- ・同じ雨量でも、地形や土地利用の仕方によって災害の起こり方は違う。急傾斜地～土砂災害、平坦地や低い所～浸水害、川の流域～洪水害
- ・水は低いところ集まる。河川は上流に降った雨にも注意。
- ・集中豪雨をもたらす「線状降水帯」
- ・危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報。

・気象情報の入手例～テレビ(d ボタンも活用)、ラジオ、携帯電話・スマートフォン、広報車、防災無線。

・大雨による水害から身を守るために、市町村のハザードマップ等により、あらかじめどのような水害が発生するか確認し、早めの避難を心がける。

4. 「災害から身を守る共助・自助の取り組みについて」

宮城県危機管理対策課 地域防災班主任主査 東海林剛氏

防災の三助①自助～自分の命は自分で守る。あらゆる対策を組み合わせる。②共助～地域の人々で助け合う。地域でのコミュニケーション、要配慮者・避難行動要支援者、防災マップの確認、防災訓練の参加など。③公助～行政が防災対策を実施。避難勧告・指示、避難所の開設・運営、被害状況の把握、関係機関との情報共有、災害広報活動の実施、食料・飲料・生活必需品・燃料の調達、義援物資の受け入れ、相談体制の整備、自衛隊の災害派遣要請、救急救助・交通輸送・応急復旧・災害ボランティア調整など。

自主防災組織に対する県の取り組み・支援～防災指導員認定制度、地域防災力向上支援事業。

○出展ブース視察

・農林水産省～家庭備蓄の勧め。最低3日分備蓄。ローリングストック方式。

家庭用食料品備蓄ガイド・チェックリスト

・(株)日進エンジニアリング～地震感知器、震度3～7選択可能。

・(株)インサイト～事前防災表示装置、LED電飾パネルを使用して避難路をわかりやすい動画で示す。

・テレネット(株)～災害用無線機

・(株)SN食品研究所東北支店～電気・ガス・水道が途絶えてもそのまま食べられる非常食。

・ファシル(株)～防災グッズ、車載防災セット・防災バックパック

・日本防災士会～防災士の紹介

・宮城県総務部危機対策課～地域防災の紹介

・(株)アドテクニカ～災害安否確認システム安否コール

・(株)防災備蓄センター～防災用品(保存水・非常食料・防災グッズなど)

・サンスター(株)～災害避難時の口腔ケア

・(株)タケウチ建設・東北企業(株)～軟弱地盤・液状化対策

セミナーを受講し、更に出展を見てお話を伺い、最先端の災害対策について知ることが出来た。今後の本市の災害対策に役立てていきたい。

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項 目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 4
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領 収 証

松本基志 様

2018年 8月30日

金25,740円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
高崎801 No.000074



領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 5
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)



ホテルJALシティ仙台
HOTEL JAL CITY SENDAI

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院1-2-12
1-2-12, kakyoin, Aoba-Ku, Sendai-shi, Miyagi 980-0013
Tel: 022-711-2580 / Fax: 022-711-2582
URL=http://www.sendai.jalcity.co.jp
E-mail=rmi@sendai.jalcity.co.jp

G
U
E
S
T

松本 基志 様

ROOM/お部屋 817
NO. PERS. /ご宿泊人数 1
FOLIO/伝票番号 709274
PAGE/枚数 1 / 1
ARRIVE/ご到着 2018/08/30
DEPART/ご出発 2018/08/31

DATE/日付	DESCRIPTION/摘要	DEBIT CREDIT/料金	PAYMENT/お支払	REMARKS/備考
08/30	パッケージ	10,500		
SUB TOTAL/小計		10,500	0	
AMOUNT DUE/ご請求金額		10,500	CC 10,500	



Guest Signature/ご署名:

Folio/伝票番号
709274

Issued Date/発行日時
2018/08/30 13:47

Operator/担当者

CRTNo.

3

ご返金額
Refund

¥

上記金額領収しました。

ご署名
Signature

研修・視察報告書

平成 30年 10月 17日

高崎市議会議長 様

議員氏名 松本 基志

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

期 間	平成 30年 10月 10日(水) ~ 平成 30年 10月 11日(木)				
研修・視察先 及び所在地	全国都市問題会議 長岡市 シティホールプラザ アオーレ長岡 新潟市 アグリパーク 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター				
議 員	三島久美子、北嶋菊好、松本基志				
目 的	全国都市問題会議に参加し、本市の施策の参考とする。 新潟市 アグリパークと朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターを視察し、本市 の施策の参考とする。				
概 要	<p>○行程</p> <p>10月10日 高崎駅=(新幹線)=越後湯沢駅=(新幹線)=新潟町=(タク シー)=新潟市アグリパーク=(タクシー)=新潟駅=(バス)=朱鷺メッセ新 潟コンベンションセンター=(タクシー)=ホテル</p> <p>10月11日 ホテル=(徒歩)=新潟駅=(新幹線)=長岡駅=(徒歩)=会場 =(徒歩)=長岡駅=(新幹線)=高崎駅</p> <p>○費用内訳</p> <p>交通費 JR・新幹線 16,940円 タクシー代 3,503円 宿泊費 JR 東日本ホテルメッツ新潟 7,900円 全国都市問題会議参加費 10,000円 資料代 770円 お土産代 2,592円</p>				
費 用	宿泊費	交通費	昼食代	その他	合 計
	7,900 円	20,443 円	円	13,362 円	41,705円

所 見	<p>○内容・所見</p> <p>○新潟市アグリパーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置目的 ①農業体験学習を通じて、農業に対する理解を深め、郷土愛を育む。②生産者等に対して、食品の加工等に関する技術的支援を行うことにより農業振興を図る。 ・整備、運営 ①全面オープン～平成26年6月28日②整備費～49億1,000万円③敷地面積～7.7ha④運営体制～指定管理者 アグリパーク運営グループ(3社) ・教育ファーム事業 ①日本初の公立教育ファームである。②文部科学省が定めた学習指導要領に基づき学校のカリキュラムと連動した農業体験学習(すべて学校の授業として)を実施。③宿泊施設があり、じっくりと農業体験学習の実施。 ・アグリ・スタディ・プログラム～子ども達が農業の素晴らしさに気づき命や人との絆を大切にして、ふるさと新潟を愛し、誇りに思うとともに、持続可能な社会の実現に向け、生きる力を高めるため。 ・教育ファーム事業～農業体験・畜産体験・調理体験 ・就農支援事業～①ウィークデイ&ウィークエンド農業塾②農・福連携事業 ・農業の6次産業化支援事業～食品加工センターの業務①食品加工技術の取得②6次産業化を志向する農家等の自立支援③研修のための加工室の利用④食品加工支援センター独自の商品開発 <p>○朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2003年開業。1万人収容の本格的展示場、大小13の会議室、ホテルが一体化した施設。会議、パーティー、宿泊といったコンベンションの流れをスムーズに行える。 ・展示場～展示面積7,800㎡、平均天井高22mの無柱空間。1万人収容。 ・メインホール～1,000人収容のマルチホール。6か国語に対応出来る同時通訳ブース。 ・国際会議室～収容人数、スクール230人、シアター540人。6か国語に対応できる同時通訳ブースを常設。 ・中会議室 3室、小会議室 8室 ・指定管理者～新潟万代島総合企画(株)、株主 新潟県38%、新潟市18% <p>本市で整備している新ホール「高崎芸術劇場」や群馬県で整備しているコンベンション施設「Gメッセぐんま」について、参考となった。</p>
-----	--

第80回全国都市問題会議

市民協働による公共の拠点づくり

1. 基調講演「地方分権へのまなざし」

講師：東京大学史料編纂所教授 本郷和人氏

日本は昔から都を核としてまとまる中央集権の国だったのか。一例として貨幣の問題をあげてみる。708年に鑄造された和同開珎は、日本最古の貨幣として知られているが、これが日本列島の隅々まで流通していたわけではない。貨幣経済が浸透したのは、鎌倉時代である。

古代の日本では、地方行政の単位として国が置かれていて、その国を司る国司が任命されていた。しかし、国司等は自身の任地に赴いて生活するのではなく、部下を派遣し、実質的には現地に丸投げ。そのため、国の政策や意向が現地に浸透するはずもない。地方行政の形骸化は、朝廷からの統一的なコントロールは届かない。それは、自分の土地は自分で守らなければならない、そのため、地域の有力者は武装して侵略を防ぐ。これが武士の誕生である。様々な地方で武家による権力機構が整えられ、日本列島に小さな国がいくつも生じるようになった。戦国大名が、優勝劣敗を繰り返すうち、全体を網羅する統一権力が生まれてくる。日本全国を本当の意味で一つの国家とみなすことができるのは、この時点、16世紀の終わりの時点であるかもしれない。

黒船がうみだした「明治維新」。世襲にとらわれずに才能を登用。各地の英才が東京に集まる。張力な中央集権が図られ、列強に対抗。

現代の黒船は何か。人口減少だと考える。そして、今こそ、明治の中央集権とは逆に地方の自治権を強く後押しすべき。地方からのボトムアップこそが、新しい日本を支えていく。

2. 主報告

「長岡市の市民協働」 講師：長岡市長 磯田 達伸氏

・長岡市は、新潟県のほぼ中央に位置し、人口は県内2番目となる271千人、面積891㎢、平成の大合併により、11市町村が合併した。上越新幹線や関越・北陸自動車道が整備され、首都圏や北陸・東北地方と本市を結んでおり、主要アクセスを容易とする高速交通体系が充実している。

・長岡市の市民協働

① 平成24年6月、市民協働条例制定。同年4月に開設した長岡市の市民協働センターは、長岡市とNPO法人が共同で運営し、市民の自発的な活動や各種団体の立ち上げ・運営などに関する相談を受けるほか、関連する団体との連携をコーディネートしている。年800件の相談があり、把握する市民団体数は平成24年度88団体から平成29年度227団体に伸びている。

② 市民協働の場「アオーレ長岡」

アリーナ、市民交流スペース、市役所、議会などの機能が渾然一体に溶け合う複合施設・シティホールプラザ「アオーレ長岡」が平成24年4月に長岡駅前にオープン。設計は隈研吾氏。平成29年度実績は、施設全体の稼働率84.9%、イベント数654件のうち民間主体のイベント557件(85.2%)、延べ来場者数130.1万人で、オープンから6年間の累計来場者数は延べ813万人に上る。

・長岡市の人づくりと未来への投資～新しい米100俵～

長岡版総合戦略「長岡リジュベネーション～長岡若返り戦略～」を平成27年10月制定。将来を担う若者を地方創生の中心に据え、「若者定着」「子育て」「教育」「働く」「交流」「安全安心」「連携」の7つの戦略の推進により、人口減少に歯止めをかけ、2040年以降は人口23万5千人程度を維持することを目指す。

市政のあらゆる分野に先端技術や新たな発想を取り入れる「長岡版イノベーション」を推進するとともに、「米100俵の精神」が息づく長岡として、次の100年を作り出す「人づくり」と「未来への投資」を行う「新しい米100俵」に取り組んでいる。

3. 一般報告

「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント」

講師：三重県津市長 前葉 泰幸氏

1. 住民自治の伝統

津市は明治22年4月1日、日本で初めて市制を施行した31市の一つ。平成18年、全国でも5番目に多い10市町村が合併し、人口28万人、面積711㎡を擁する。古くは、伊勢神宮へ向かう旅人が行きかう宿場町として、藤堂藩32万石の城下町として、そして、近代はものづくりの町として発展してきたこのまちに住む住民は、自分たちのことは自分たちで自ら決める自治の伝統を有し、現代も市政に関心の高いまちである。

2. 公共施設マネジメントにおける市民との意思疎通

ミッション1 合併を決断した市民が目指す施設を作り上げる①津市斎場「いつくしみの杜」PFI方式で整備。②津市一般廃棄物最終処分場③津市産業・スポーツセンター

ミッション2 公共施設の不都合な真実をあぶり出し、向き合え～第3セクター法人2社の経営危機。第3セクターが所有する資産売却による財務改善都市が必要としていた公共施設の更新を同時に解決することが得策と考え、第3セクターの問題点を包み隠さず開示し、対応策を複数提示しながら事態を打開することに挑戦。

ミッション3 市民との対話から聞き取った思いや願いを反映した公共施設を作れ～市域を37ブロックに分けて半年に1回地域懇談会を開催。地域の課題を伺い、受け止め、市役所あげて解決策を探り、対話と連携で、公共施設の整備や改築、用途変更や廃止に繋がっていく事例が生まれた。

ミッション4 すべてをオープンにし、とことん議論して公共施設を再編せよ
～地域の公共施設群を面的に俯瞰して一体的に再編するエリア再編は、
まさに市民との対話無くしては進められない。時間をかけて粘り強く対話を
続け、市民の最終的な理解を得られるよう努力を重ねている。

3. これからの公共施設マネジメント

津市の資産である公共施設の姿を決めるのは市民。市民の思いを把握
し、その願いをかなえる公共施設マネジメントの実現に向け、市民との対話
と連携によりしっかりと取り組んでいく。

4. 一般報告

「場所の時代」講師:建築家 東京大学教授 隈 研吾氏

20世紀は、建築が世界を流通する巨大な商品と化した時代だった。しか
し、1990年代の不況の中、私は経済の波を超越できる建築について考
えた。それが、徹底的に場所にこだわって設計する建築である。その場所
でしか手に入らない材料を使い、場所を熟知した職人の手を使い、その
地の気候、環境と調和し、人々が本当に必要としている建築を作るとい
うことである。

「小さな場所の力」が見直されている。「物」と「国家」を枠組みとした工業
化の時代は去り、私達は今、「場所」を主役とする脱工業化社会に生きて
いる。

小さな場所の力に着目したきっかけは、3・11だった。日本がガレキになっ
ただけでなく、世界が終わってしまったと感じた。コンクリートと鉄の構造体
が、大自然の前ではひとたまりもなく、逆に破壊されてしまった姿は、「近
代」あるいは「モダニズム」というシステムの終焉を象徴する風景だった。

90年代初頭、バブルが崩壊した後、10年間地方を廻って、小さな建物を
地元の職人達と作るという経験をした。その時いかに「小さな場所」に力
があり、しかもその力が眠っているかを知った。「小さな場所」の底知れぬ豊
かさ、温かさを実感した。この10年間の経験で、3・11の前から場所に注
目し、それぞれの「小さな場所」を輝かせるような建築を作りたいと考
えてきた。

3・11を経た日本ではどう切断するかではなく、どうつなぐかがテーマとな
る。その難しい課題にみんなで挑戦してみたい。

各自治体の首長、大学教授など各講師による、大変興味深いお話を伺っ
た。また、屋根付き広場「ナナカマド」を中心に、アリーナ、市民交流スペ
ース、市役所、ガラス張りの議場など、会場となった「アオーレ長岡」の素
晴らしさに感心した。今後の本市の参考としていきたい。

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 6
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

会議参加費領収書

松本基志 様

金 10,000 円

但、「第80回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成30年 10月 10日

第80回全国都市問題会議実行委員会

会長 磯田達伸



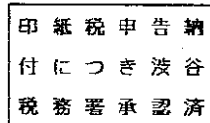
領 収 証

2018年10月 4日

松本基志 様

金 16,940 円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。



本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
高崎803 No.000025



様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 8
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領 収 書

(クレジットカード支払)

No.0931

日付 '18年10月10日

車番 000006 000

基本運賃 ¥4830円

合計金額 ¥4830円

(Card Purchases)

毎度ご乗車
ありがとうございます
真心と奉仕

東タクシー

新潟市東区一日市2番地2

電話番号 (025)

271-3053

領 収 書

2018年10月10日

車両番号 0007

運賃 ¥4770円

合計 ¥4770円

白根中央タクシー(株)

新潟市南区白根2290-9

☎ 025-372-1181

領 収 書

No.7843

日付 '18年10月10日

車番 000013 000

基本運賃 ¥910円

合計 ¥910円

上記の通り領収致しました
毎度ご乗車

ありがとうございます

備前 聖 籠 タクシー

北蒲原郡聖籠町

東港7-61-16

電話番号

025-256-2552

領 収 書

NO. 275294



高崎市議会

北嶋菊好・松本基志・三島久美子 様

2018年10月15日

金額	百万	十万	万	千	百	十	円
			¥	7	7	7	8-

上記正に領収いたしました 但 品代

クレジットカードによるご利用分

パティスリー・クリエーション

株式会社 原田・ガトーフェスタハラダ

新本館 シャトー・デュ・ポヌール 〒370-1301 群馬県高崎市新町1207
 TEL 0274-43-1100 FAX 0274-42-0137
 通信販売センター TEL 0120-520082 FAX 0800-800-6082
 中山道店 〒370-1301 群馬県高崎市中山道
 TEL 0274-42-0001 FAX
 ららん藤岡店 〒375-0005 群馬県藤岡市
 TEL 0274-40-7611

内 訳

税抜金額	
消費税額	

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 9
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領収証

平成30年10月10日

高崎市議会事務局松本・北嶋・三島 様

下記の通り領収致しました。

アグリパーク運営株式会社
新潟市アグリパーク
統括館長 坪川 藤夫
新潟市南区東笠巻新田3
電話 (025)378-3109
FAX (025)378-3096

印紙



税込合計金額				税率	内消費税等額
¥2,310				8%	¥171
摘要	数量	単価	金額	備考	
1 10/10 視察	3	500	1,500		
2	3	270	810		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
小計			¥2,310		

研修・視察報告書

平成 30年 11月 21日

高崎市議会議長 様

議員氏名 松本 基志

下記のとおり研修・視察が終了したので報告します。

期 間	平成 30年 11月 14日(水) ~ 平成 30年 11月 15日(木)				
研修・視察先 及び所在地	宇都宮市文化会館(宇都宮市明保野町7-66)				
議 員	三島久美子、北嶋菊好、松本基志				
目 的	「第13回全国市議会議長会研究フォーラム」に参加し、本市のまちづくり施策の参考とする。				
概 要	<p>○行程</p> <p>11月14日 高崎駅=(新幹線)=大宮駅=(新幹線)=宇都宮駅=(シャトルバス)=会場=(シャトルバス)=ホテル</p> <p>11月15日 ホテル=(シャトルバス)=会場=(シャトルバス)=宇都宮駅=(新幹線)=大宮駅=(新幹線)=高崎駅</p> <p>○費用内訳</p> <p>交通費 JR・新幹線 13,500円</p> <p>宿泊費 ダイワロイネットホテル宇都宮 11,277円</p> <p>研究フォーラム参加費 7,000円</p>				
費 用	宿泊費	交通費	昼食代	その他	合 計
	11,277 円	13,500 円	円	7,000 円	31,777 円

○内容・所見

「第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮」

1. 基調講演

「地域共生社会をどうつくるのか 2040年を超える自治体のかたち」

講師:中央大学法学部教授 宮本 太朗氏

現役世代対高齢化世代比率が10対1から1.5対1に、実質的には0.5対1になると予想される。「肩車」というより「重量挙げ」社会になる。

地方の人口が減少する中、東京の人口は増加するという漏斗化現象。

つまり、地方は高齢化がピークを過ぎるが、現役世代が更なる減少。東京圏は、現役世代の流入もあり、人口規模は維持するが出生率は低くなり更なる高齢化が進む。2040年問題はこの重量挙げ化と漏斗化が限界点に達し、地方と東京圏がそれぞれ違う形で持続可能性を問われる。

解決策として、ピンチをチャンスに、そしてチャンスを実現していく。つまり、困窮・孤立を超えて皆が人財のまちへ、移住しなくてもずっと出番のあるまちへ、必要縁・新しい家族縁・地縁でコンパクトな拠点づくりを進めていく。

これからの地域づくりの目標は「地域共存社会」の構築。制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域社会の多様な主体が「我が事」として参画し、地域を共に作っていく。

地域共生は、「ご当地流」が大事。しかし「元気になるチャンス」は平等にあるべき。定年後男性の地域でビュー支援が大事である。「年金兼業型就業」としての「PPAP」(Personal Service 福祉関連・Pension 年金・Agriculture 農業林業・Professional Skills 技能取得)、「ずっと出番のあるまち」に可能性が広がる。

部局の縦割りを超えた包括的支援の場作り、雇用の部局や地域の企業を福祉の包括支援につなぐ、シルバー人材センターや地域デビュー塾などの「ずっと出番づくり」のメニューづくり、居住支援協議会を設置しケアと居住をつなぐ地縁づくりなど、チャンスを実現化するために政治の役割は大きい。

2. パネルディスカッション 「議会と住民の関係について」

・コーディネーター

山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授 江藤 俊昭氏

・パネリスト

公益財団法人地方自治総合研究所主任研究員 今井 照氏

有限会社ひまわり亭代表取締役 本田 節氏

朝日新聞大阪本社地域報道記者 神田 誠司氏
宇都宮市議会議員 小林 紀夫氏

コーディネーターの江藤氏から、「①新たな地域の課題の確認、それに住民・議会がどう対応しているかという評価と共に提言。②課題の明確化や解決手法を構想するために住民と議会の関係の現状と課題。③統一地方選挙への期待と提案、なり手不足問題にも対応。」という投げかけに対して、パネラーからの意見と討議が行われた。

・本田 節氏

地域づくり団体「ひまわりグループ」を立ち上げ、一人暮らし高齢者への声掛けを兼ねての弁当の宅配ボランティアを始める。仲間たちで「食・農・命」をテーマに活動していくうちに、「生涯現役でもっと生きがいや居場所づくりや、地域の役に立ちたい。」という話になり、「農村レストラン ひまわり亭」をオープン。雇用は、「待ってました、定年！60歳新入社員、生涯現役」をモットーとし、高齢者雇用と子育て支援型とした。現在の「ひまわり亭」の業務は、①地産地消による家庭料理の提供②食を通じた地元情報の発信③地元の旬の食材を使った食文化の創造と伝承④食や命、農をテーマにした各種イベント開催⑤グリーンツーリズムの推進⑥食育活動の推進。今後も食資源を活かしたまちづくり、人づくり、元気づくりの拠点としてネットワークを広げていきたい。

・神田誠司氏

新聞記者として議会改革について取材し、朝日新聞夕刊に「議会改革をたどって」という連載をしてきた経緯から、各議会改革についてのお話を伺う。主な事例として北海道栗山町、神奈川県葉山町、福島県会津若松市、愛知県犬山市、岐阜県可児市、北海道芽室町、滋賀県大津市など。「議会が多様な民意をどうくみ上げるか。」「議会が住民の代表になり得ているのか。」などの問題提起をされ、議会報告会の開催や市民との意見交換会の事例について説明されました。今後、「チーム議会」として、それぞれの議会が取り組む必要性を指摘。

・小林 紀夫氏

宇都宮市議会議員として、議会改革について報告。
地方議会制度を変える必要があるのではないかとの問題提起があった。「現在は、二元代表制で、議会には執行権が無い。今後一元代表制にすれば、議会と市民の距離が近くなるのではないか。」という指摘。ちよつとびっくりした。

・今井 照氏

合併によって、大規模化・広域化した「市」は自治の基盤を失い、共生組織に

偏する。一方、「分権」の名を借りた業務移譲や国からの責任転嫁によって行政が肥大化。両者のはざまで、「市議会」の立ち位置が揺れている。「議会として市民活動と協力できるのではないか。」との指摘。

3. 課題討議「議会と住民の関係について」

・コーディネーター

山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授 江藤 俊昭氏

・事例報告者

久慈市議会副議長 桑田 鉄男氏

新潟市議会議員 新潟市議会主権者教育プロジェクトチームリーダー 伊藤健太郎氏

犬山市議会議員 ビアンキ アンソニー氏

竹原市議会議員 道法 知江氏

・桑田鉄男氏

「久慈市議会 事例報告」

主な議会改革の取り組み

- ① 全文方言の「じえじえ基本条例」
- ② 住民と議会が協議する場「かだって会議」～議会報告会の失敗から逆転発想。議会に警戒心・無関心な特に働き盛り・子を持つ親世代の市民に、声なき声を語ってもらい、一緒に話し合う場。市民と議会が協働する場
- ③ 袖ヶ浦市議会との議会間友好交流協定
- ④ 議会のICT化(タブレット端末)
- ⑤ 災害時議会のマニュアルの策定・発動
- ⑥ 議長の他常任委員長の所信表明
- ⑦ 通年議会の導入
- ⑧ 議会のあり方検討会議の常設(定数・報酬)
- ⑨ リニューアル議会広報誌「かだってタイムズ」
- ⑩ 委員会代表質問(委員連携型)

・伊藤健太郎氏

「新潟市議会主権者教育推進プロジェクト」

・開始までの経緯～有志議員が「議員として、学校等と連携して主権者教育を進められないか。」発案。全議員対象の勉強会・研修会の開催。

・新潟市議会としての対応

趣旨～教育委員会や選挙管理委員会と共に取り組む。

対象～市内の中学校、高校など

手法～4つの具体的手法を提示したうえで、出来る限り学校の要望を取り入れる。①模擬市議会～合意形成のロールプレイング②地域課題の解決に

向けたワークショップ③市議会の傍聴・見学④議員との交流・意見交換会
議員派遣体制～①原則として全会派から派遣する。②市立中学校において
は、当該区選出以外の議員を派遣する。

・ピアンキ アンソニー氏

「市民参加」と議会機能向上～愛知県犬山市議会の取り組み～
権限の限り機能した議会への3点

① 議員間討議

委員会での討議の場を設置。

全員協議会で、一般質問・上程議案の内容を協議する議員間討議を行
う。一般質問で答弁が納得できない場合、議員間討議で意見を集約し、
提案へとつなげる。

② 政策立案と政策提言力の向上

③ 市民参加

市民フリースピーチ、女性議会など市民参加の機会を増やし意見聴取、
各課題について議員間で討議、意見集約して議会としての提言に。

・道法 知江氏

「女性と議会との関係～お互いが尊重し認め合う議会に～」

・「議会の見える化 情報発信」を推進

議会改革に後れを取っていた竹原市、 変革を求めない風潮へ新しい
風を吹き込む、 意見を聞き受け入れる 共有する をモットーに

・女性の議会運営委員長と二人三脚で

意見の相違があってもお互いに認め合っていた
周囲の男性議員がいつも助けてくれた

・7月豪雨災害を経験

災害支援連絡協議会設置要綱・議員行動マニュアルを施行
女性目線の行き届いた支援

各市議会の事例発表や、各講師のお話を伺い、議会と住民の関係につい
て、改めて考える機会となった。これらを本市の今後の取り組みの参考として
いきたい。

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項 目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 10
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領 収 証

松本基志 様

2018年11月12日

金13,500円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
高崎803 No.000036

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. //
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)



お客様の領収書



三島久美子・北嶋菊好・松本基志

エクスぺディア旅程番号: 7362232687407

ホテル

ダイワロイネットホテル宇都宮

東宿郷 1-4-14, 宇都宮市, Tochigi-ken, 321-0953 日本

チェックイン: 2018/11/14

チェックアウト: 2018/11/15

宿泊日数: 1

部屋タイプ: ダブルルーム 喫煙可 コーナー

部屋数: 3

客室料金: ¥33,831

税およびサービス料*: 込み

お支払い済みの合計料金: ¥33,831

AAE Travel Pte. Ltd.

8 Marina Boulevard

#05-02, Marina Bay Financial Centre Tower 1

Singapore 018981

$$33,831 \times \frac{1}{3} =$$

$$11,277$$

予約日: 2018/6/27

領収書発行日: 2018/11/17

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項 目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. 12
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

0312

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

平成30年11月22日

高崎市議会 松本 基志 様

参加費領収書

第13回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会 全国

委員長 山田 聖之 様

東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

参加代金として

平成30年11月14日・15日開催 (宇都宮市)

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	No. /
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

戸田書店

領収証



BOOKS & MAGAZINES
TAKASAKI
BUNKAIDO

株式会社文開堂
〒260-0821 三重県津市垂穂町1-2-1
TEL 077-322-3498

2018年8月3日(金)No0

書籍	¥9,250外
小計	¥9,250
外税売	¥9,250
外税	¥740
合計	¥9,990
(うち消費税)	¥740
お預り	¥10,000
お釣り	¥10

お買い上げありがとうございました

1責 6198 16時21分

高崎店
電話 027-363-5110

ご来店ありがとうございます。

2018/08/26(日) 15:41
No. 03-000215058 扱:49094266

4127:9784863522121 0044 01400
理工書
@1512 1点 ¥1,512

数量 1点
合計 ¥1,512

消費税等 ¥112
税抜課税対象額 ¥1,400

現金扱い等計 ¥1,512
(内消費税等) ¥112

交通系IC ¥1,512

釣銭 ¥0

領 収 書

No. 232836

松本基志 様

31年 2月 / 日

金額	¥	25320	円
内消費税			円

収 入
印 紙

但し高崎住宅地図代
上記の通り領収致しました

※注) 下記の領収書は無効とします
①金額の抹消改ざんのもの
②社印なきもの
③お得意様、担当者印のなきもの
④複写によらないもの



本社 金沢	077-232-3355	上越事務所 上越市大豆2-6-12	025-520-8961
金沢営業所 金沢	077-239-1110	松本営業所 松本市大手1-7-3	0263-36-7420
富山営業所 富山	077-491-3122	長野事務所 長野市稲里町中央1-2-1	026-214-8452
福井営業所 福井	077-826-6411	前橋営業所 前橋市下石倉町28-3	027-251-7440
新潟営業所 新潟	025-245-2320	郡山営業所 郡山市桑野2-18-15	024-922-7725
長岡営業所 長岡	025-25-0331		

取扱者



様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	No. 2
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

<input type="checkbox"/> 通常払込料金 加入者負担		振替払込請求書 兼受領証	
<input type="checkbox"/> 照会 加入者名	第一法規株式会社		
	金額 千 百 十 万 千 百 十 円	1 9 4 4 0	
<input checked="" type="checkbox"/> 振込先	銀行 支店		
<input type="checkbox"/> 依頼人住所氏名	***** 松本 基志 様 (085-045930-0008)		
料 金 備 考	31-03-20 高崎 八千代町 郵便局 (04313) N94130004		

この受領証は、大切に保管してください。振込先金融機関用 (CVS店舖性)

振替払込請求書兼受領証

<input type="checkbox"/> 口座記号番号	通常払込 料金加入 者負担		
	加入者名 イマジン出版株式会社		
金額 千 百 十 万 千 百 十 円	￥ 5 8 9 6 8		
<input type="checkbox"/> 依頼人	群馬県高崎市八千代町1-17-8 松本 基志 様		
料 金 備 考	日 附 印 31-03-20 高崎 八千代町 郵便局 (04313) N94130003		

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

様式第18号 (第8条関係)

領収書等整理票

項目 (該当の□を チェック)	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	No. /
	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 人件費	
	<input type="checkbox"/> 事務所費	<input checked="" type="checkbox"/> 事務費		

(領収書等の証拠書類貼付欄)

領収書

管理No. 0124-451-0001202

伝票No. 0124-451-040653

発行日: 2018年09月12日

松本基志 様

内訳
カード ¥13,230 ¥13,230 (内消費税 ¥980)

但しICレコーダー 代として。
上記の金額正に領収いたしました。
株式会社ヤマダ電機
群馬県高崎市栄町1-1

印紙税申告納
付につき高崎
税務署承認済



0704168013 LR03NJ/2B SSS
ICレコーダー 1:持帰 外08 ¥370
4221573015 DM750SLV SSS
ICレコーダー 1:持帰 外08 ¥11,880

LAB I I LIFE SELECT 高崎

※印刷面を内側に折って保管願います。